

糖尿病(とうによびょう)は「尿に糖が出る病気」なの？③

では前回号に続いて「糖尿病網膜症」の解説を引用したいと思います。

ちなみに前回号でのポイントは…

- ① 「網膜症は糖尿病になってから 10 年以上経過して発症する」
- ② 「(網膜症)かなり進行するまで自覚症状がない場合もある」

の2点でした。しかし実は糖尿病の発症時期は特定できない事がほとんどなのです(採血をしないとワカラナイし、単純に血糖値だけだと見逃すこともあり得ます。HbA1c などの長期間の平均血糖値を測定できれば高い確率で診断することができますが、そうした特殊採血を行うと検査費用が高額になりすぎてしまう為、一般的な健康診断ではそこまでの検査は行わないのが実情です)。つまり、実際には眼科の健診は常に必要であり「糖尿病と内科で診断されてから 10 年間は眼科受診なしで良い」というのは完全に誤解なんですよ。また、正確な発症時期がワカラナイという事実を踏まえて私の実際の眼科診療においては「網膜症の発症までは 5-10 年」とザックリした説明をするようにしています。大切な事は「だいたい後から出る事もありますよ」という意味なので。実際ピッタリ！キツリ！「精密に 10 年」という訳でもないと思うのです、個人差もありますしね。

逆に例えば…①糖尿病になりました→②直後に眼科にかかりました→③その時に眼科での糖尿病による異常はナシ→④その後内科の治療と生活習慣の改善で血糖値など糖尿病の数値は大幅に改善！メダシメダシ！「内科が良くなっているんだから、もう今後眼科で糖尿病による悪化は絶対ないんですよ！」というロジックは、患者さんの心理を考えれば大変よく理解できます。しかし！ここで「網膜症は 10 年遅れて発症する」がキーワードとなってきて…内科の数値が改善して「とても良いですよ！」と内科の先生に褒められると同時に、眼科では「網膜症が悪化してきています、今後手術が必要になるかもしれません」というとても辛い病状悪化の説明を受けるという「逆転現象」が起こりうるのです。糖尿病の目についての病状は「過去の悪かった数値が後から影響を持って襲いかかってくる」ため、患者心理としては容認し難い状況を生む場合があります。しかも、病気の進行が初期から中期であれば「見えにくいという自覚的な感覚がない」ので、その事がさらに患者さんの正しい病状理解を妨げる訳です。極端な表現をすれば…「そんな訳ないだろう！！俺の目はいつも通りに見えるし、内科の先生からはバツバツめくらい現在の数値が良いんだ！あの眼医者はヤブなんじゃないのか?!」という感じです。お気持ちは大変良く理解できます、心情的にはその通りでしょう。糖尿病の治療に対しては食事・運動・薬を含みご本人自身が大変な努力をされている訳です…しかし、それでもそれが「誤解」となる事もある…という事実は、大変残念な話ではありますが…皆さんに知っておいて頂きたいと思うのです。では日本眼科学会のホームページからの引用の続きです。

http://www.nichigan.or.jp/public/disease/momaku_tonyo.jsp

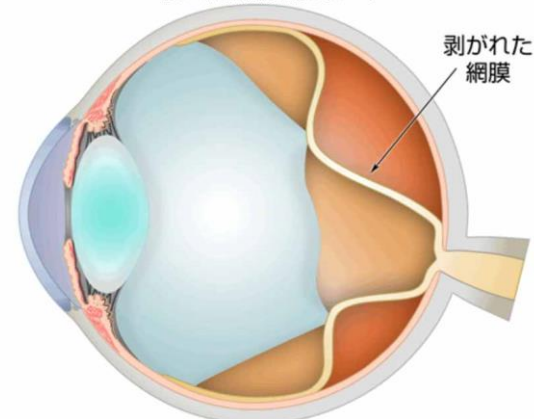
@@

@@

(3) 増殖糖尿病網膜症

進行した糖尿病網膜症で重症な段階です。新生血管が網膜や硝子体に向かって伸びてきます。新生血管の壁が破れると、硝子体に出血することがあります(図 2)。硝子体は眼球の中の大部分を占める透明な組織です。ここに出血が起こると、視野に黒い影やゴミの様なものが見える飛蚊症と呼ばれる症状を自覚したり、出血量が多いと急な視力低下を自覚したりします。また、増殖組織といわれる線維性の膜が出現し、これが網膜を引っ張って網膜剥離(牽引性網膜剥離)を起こすことがあります(図 3)。この段階の治療には、手術を必要とすることが多くなりますが、手術がうまくいっても日常生活に必要な視力の回復が得られないこともあります。この時期になると血糖の状態にかかわらず、網膜症は進行してゆきます。特に年齢が若いほど進行は早く、注意が必要です。

図3. 牽引性網膜剥離のイメージ



© Japanese Ophthalmological Society

*** 糖尿病黄斑症**

黄斑は網膜の中心にあり、ものを見るために最も重要な部分です(図 1)。黄斑付近に毛細血管瘤などが多発したり血液成分が染み出たりするなどの理由により、黄斑にむくみを生じた状態が糖尿病黄斑症です。単純網膜症の段階でも起こることがあり視力が低下してしまいます。

@@
@@
今回のフジタガンカニュースはここまでです。ちなみに、上記引用文中に登場する「図 1」については、フジタガンカニュース前回号の Vol.88 の引用文を参考にして下さい。また今後の予定ですが、次回号にて糖尿病関連の内容は終了の予定です。



<http://www.fujita-ganka.com>

今月のお知らせ
最近になりスギ花粉症の症状を訴える患者さんが増えて来ています。気になる症状がある方はご相談下さい。

FUJITA-EYE-CLINIC
藤田眼科
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)
F-Vision

① **042 (645) 0575**
① **042 (642) 2911**